

ミナの譬え—終末を生きる信仰

ルカの福音書19:11-27

2014、3、2 HKJCF

1

概観

序)①エルサレム直前②神の国の理解

- 1、旅に出る身分の高い人 V11-14
- 2、しもべたちの報い V15-26
- 3、国民への裁き V27

結論

適用)終末を生きるキリスト者としてあなたが実践すべきことは何でしょうか？聖霊の助けを祈り求めましょう

2

I 旅に出る身分の高い人

- 1、身分の高い人:王子
 - 2、王位を受けるための旅
 - 3、歴史の実例 参)ヘロデ大王とロ-マ皇帝
 - 4、国民の反発
 - 5、しもべたちへの委託
- ⇒2つの譬え、イエス様の繰り返しの教え
参)マタイ25

3

II しもべたちの報い

- 1、10ミナ儲けたしもべ
- 2、5ミナ儲けたしもべ
- 3、1ミナをしまったしもべ
- 4、持てる者は更に与えられるの意味？
①窮乏化理論？ 共観福音書 全てが記録
②賜物の活用(信仰の適用) ルカ8:16-18
③王との信頼関係が基本
⇒神の存在承認から神の人格の信頼へ

4

III 国民への裁き

- 1、王子の即位を望まなかった国民
 - 2、帰国後の王の裁き
 - 3、報いと裁きの相違点と基準
- ①報い:王の賜物の活用(信仰の適用)
②裁き:王の権威を認める信仰
- ⇒神様は行いでなく信仰(キリストを救い主と信じ受け入れる)を救いの基準とされるが、信仰の適用の行為に報いられる

5

結論

- 1、王子の旅:初臨と再臨
 - 2、小さなこと:地上のこと(ミナとタラント)
 - 3、終末を生きる信仰
- ①王の主権の受容と従順 ⇔ ルカ19:14
②地上の事に信仰適用 マタイ25:40
③王を信頼、賜物を活用、決算の備え
④神の国の完成と再臨を待望
⑤聖霊の満たしの継続的求め
- ③マタイ25:19 ④同25:13 ⑤同25:4

6